

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立聖和小	学校	児童数	82
---------	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.77	19.80	35.58	41.34	42.61	9.32	158.49	21.37	54.39
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	15.11	20.11	40.68	39.92	34.11	9.61	150.35	12.11	55.69
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

体力合計点について、男子54.39点、女子55.69点と全国平均と比較すると1～2点、大阪市平均と比較すると、3点近く上回っている。質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」の回答割合においては、男子が「好き：75%、やや好き：25%」であり、女子が「好き：57.9%、やや好き：28.9%、やや嫌い：13.2%」とおおむねの児童が運動やスポーツに関して肯定的であるということが分かる。1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合は男子が10%、女子が18.4%と全国と比べて、1%ほどしか変わらなかったことから、男女どちらとも平均的な運動時間を確保できていると考えられる。以前より課題としていたソフトボール投げについても、男子は全国平均以上、女子は全国平均と比べ1点ほど低いが、改善が見られてきている。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

これまで年3回の運動週間（ボール投げ、縄跳び、スタートダッシュ）を行ってきた。そのうちのボール投げ週間の取組の成果から、例年は平均より大幅に低かった「ソフトボール投げ」が、今年度は平均と同程度の結果となった。今後もこれらの運動週間を行っていく。そのほかの項目も、平均より高い水準であったのは、授業での取組や運動週間による継続的な運動による成果だと考えられる。

20mシャトルランの記録が男女ともに全国平均・大阪市平均より低い水準となった。そのことから、持久力に関する体力面に課題があることが分かったため、来年度は持久力向上につながる運動週間や授業の取組みを行っていきたい。